

# 第5回 北日本頭頸部癌治療研究会

## プログラム抄録集

日時：平成11年10月16日（土曜日） 午後2時より

場所：艮陵会館 記念ホール  
仙台市青葉区広瀬町3-34  
電話 022-227-2721

## ご挨拶

北日本頭頸部癌治療研究会が発足し、早いもので第5回を迎えます。今回は岩手医科大学耳鼻咽喉科学教室でお世話させて戴くこととなり、大変光栄に存じております。

本研究会パネルディスカッションは第1回の喉頭癌から舌癌、下咽頭癌、中咽頭癌の主題が取り上げられ、各施設から治療方法、治療成績の報告が行われ、活発な討議が行われて参りました。

今回は「鼻・副鼻腔癌」を取り上げさせていただきました。鼻・副鼻腔癌の中心となる上顎洞癌は頭頸部癌の中でも比較的古くからいくつかの治療方法が検討され、評価が行われて参りました。今回は各施設の現状をご報告いただき、討論を通じて更に治療成績の向上に役立つよう願っております。

また特別講演は、千葉大学医学部耳鼻咽喉科今野昭義教授にお願い致しました。今野昭義教授には秋田大学から千葉大学へ移られましたが、その間一貫として頭頸部癌に取り組まれており、今回は「鼻・副鼻腔癌治療法の変遷と今後の問題点とその対応」と題して御講演をいただくことになりました。先生のこれまでの多くの症例を通して有益なお話をいただけるものと楽しみに致しております。

鼻・副鼻腔癌は最近減少傾向にあり、しかもこれまでパネルディスカッションのテーマとして取り上げられた癌と比較いたしますと、その予後は比較的良好で、頭蓋底外科との併用によって根治が期待されるとの報告もみられます。しかし上顎洞癌症例の多様な背景をみると、まだまだ治療法の選択などに検討する余地があるのではないかと思います。パネリストの方々にはどうぞ普段考えている本音を是非述べていただきたいと思っております。

今研究会は仙台市の艮陵会館で行われます。いつもは参加の形で利用させていただいておりますが、今回は主宰する側の立場で、会場を使用させていただきます。不慣れのこともあるうかと存じます。不行き届きの際には何卒ご寛容下さい。

一人でも多くの先生方にご参加をいただき、活発な討論が行われますことを希望いたします。

平成11年10月

第5回北日本頭頸部癌治療研究会  
会長 村井和夫

## プログラム

パネルディスカッション（14：00～16：30）

司会 犬山 征夫教授（北海道大学）

テーマ『鼻・副鼻腔癌の現状』

1) 旭川医科大学

林 達哉先生

「当科における鼻・副鼻腔癌症例の検討」

2) 北海道大学

八木 克憲先生

「上頸洞癌の臨床的検討 - 頸部リンパ節転移と眼窩浸潤について - 」

3) 札幌医科大学

坪田 大先生

「当科における上頸洞原発悪性腫瘍の治療成績」

4) 国立札幌病院

堂坂 善弘先生

「鼻・副鼻腔癌治療における小線源治療の役割」

5) 弘前大学

松原 篤先生

「当科における鼻・副鼻腔癌の臨床的検討」

6) 秋田大学

坂本 賢生先生

「秋田大学における最近10年間の上頸扁平上皮癌の治療成績」

7) 岩手医科大学

千葉 秀樹先生

「当科における鼻・副鼻腔悪性腫瘍の検討」

8) 東北大学

横山 純吉先生

「上頸悪性腫瘍の治療」

9) 宮城県立がんセンター

西條 茂先生

「上頸洞扁平上皮癌の治療成績」

10) 山形大学

小池 修治先生

「当科における鼻・副鼻腔癌の治療の変遷と現況」

11) 福島県立医科大学

鹿野 真人先生

「上頸扁平上皮癌の治療成績と今後の課題」

特別講演（16：45～17：45）

司会 村井 和夫教授（岩手医科大学）

「鼻・副鼻腔癌治療法の変遷と今後の問題点とその対応」

今野昭義教授（千葉大学医学部耳鼻咽喉科）